

シルバー人材センターの情報をお届けします

久留米市シルバー人材センター

会報

高良山

第144号

令和8年
1月号(季刊)



女性委員会の活躍



編集・発行
公益社団法人

久留米市シルバー人材センター

(本部) 西町 873-7 ☎0942 (35) 5229
(西部出張所) 三潯町玉満 2949-1
三潯生涯学習センター2階
☎0942 (64) 5671
(東部出張所) 善導寺町飯田 601-1-2 2階
☎0942 (47) 6700

新年のごあいさつ

理事長 吉田 茂



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様、そして発注者・関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

わが国は、世界でも類をみない超高齢化が進行し、人生100年時代を迎える中、シルバー事業の社会的役割は、益々大きくなってきています。高齢者にとって働くこと、そして趣味を持つことはとても重要です。いつまでも元気でいたい。歳のせいと諦めることなく自分のペースで働きたい。そう思っている人にとってシルバー人材センターは、無くてはならない存在です。また、センターでの仕事(就業)は、生きがいづくりや健康維持にも役に立ちます。ありがとうございます。魔法の言葉、発注者から感謝されれば会員のやりがいにつながります。このシルバー事業も会員の皆様のご協力なくして成り立ちません。一層のご支援をお願いします。

本年も会員の減少や高齢化、就業ニーズの多様化、さらには事務効率化への対応などシルバー事業にとって厳しい経営環境が続きますが、時代の変化に柔軟に対応し、市民の皆様から親しまれ、安全で信頼されるセンターであるために、更なる努力を重ねる所存です。

どうか、会員の皆様、そして発注者・関係者の皆様には、引き続き熱いご支援をお願いするとともに、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

久留米市長 原口 新五



あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

久留米市シルバー人材センターが会員の皆様に技術や経験を生かした就業の機会を提供され、会員の皆様が就業や地域でのボランティア活動などを通じて活躍されていることに、敬意を表し、感謝を申し上げます。

さて、我が国では人口減少・少子高齢化が進行しており、久留米市が今後も持続的に発展していくためには、地域にかかわる様々な関係者が、お互いに支え合っていくことが必要となります。

そのような中、久留米市は、「安心・安全で活力にあふれた、誰もが生き生き生活・活躍できる共生のまち」の実現を目指して取組んでおり、高齢者の皆様に、地域で日々、生きがいをもち元気に活躍していただき、地域社会の活力を維持、向上させていくことが大変重要であると認識しております。

そのため、会員の皆様の多彩な技能や知識、経験に応じた就業機会を提供するシルバー人材センターの果たす役割はますます大きくなると考えています。

会員の皆様には、優れた技術、豊かな経験を十分に発揮して地域社会のニーズに役立てていただきたいと思います。

市としましても、高齢者の皆様が生き生きと活躍いただけるよう、シルバー人材センターと連携して取組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、久留米市シルバー人材センターの益々のご発展、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

久留米市長・久留米市議会議長を表敬訪問しました

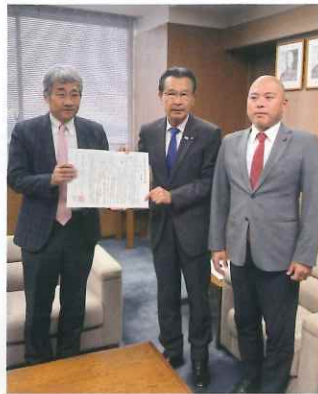
シルバー人材センター事業への久留米市からの支援などの要請や当センターの活動報告をかねて、去る11月21日(金)に原口市長、11月25日(火)に石井市議会議長を表敬訪問しました。
当センターからは吉田理事長をはじめ、服部総務部長、平田事業部長、中村安全推進部長、鈴木広報委員長、平井女性委員長、松延常務理事が出席し、日頃の配慮や支援に対して、お礼を申し上げます。今後も一層のご支援をお願いいたしました。



【久留米市長 表敬訪問(11月21日)】



【久留米市議会議長 表敬訪問(11月25日)】



令和8年度

会費納入及び誓約書提出のお願い

令和8年度の会費(3,000円)の納入及び誓約書提出の受付を1月からセンター本部・東西出張所にて開始いたします。
会費納入及び誓約書提出の期限は4月末日ですので、よろしくお願い致します。

第2回シルバー人材センター事業説明会・入会説明会を開催します

9月に実施した第1回シルバー人材センター事業説明会・入会説明会の結果は、**参加者36名、入会者11名**でした。

第2回シルバー人材センター事業説明会・入会説明会を左記のとおりで開催いたします。是非「会員紹介カード」を利用してお知り合いの方をお誘いください。(紹介された方が入会した場合、紹介した会員の皆様にはクオカードを進呈します。)

(東部地区)

日時 **令和8年1月21日(水)14時開会**

場所 **北野生涯学習センター本館**

(西部地区)

日時 **令和8年1月22日(木)14時開会**

場所 **三潯生涯学習センター**

(中央地区)

日時 **令和8年1月23日(金)14時開会**

場所 **鳥飼校区コミュニティセンター**

※この説明会で入会申込みした方は、1月末に入会することができます。



職群職域班長会議を開催しました

◇ 職群班長会議 ◇

開催日時：12月4日(木)14時
開催場所：当センター本部2階 研修室

◇ 職域班長会議 ◇

開催日時：12月5日(金)14時
開催場所：当センター本部2階 研修室

令和8年4月1日からの会員業務委託料見積基準改正に伴い、改正案の報告等を行いました。各班長からは貴重な意見を頂きました。理事会にて承認後、令和8年度から改正予定です。

各種講習会を開催しました

◇ 筆耕講習会 ◇

開催日時：11月17日(月)13時
開催場所：当センター本部2階 研修室

今年度も元会員の小池先生を講師にむかえ、賞状筆耕講習会を開催しました。6名の方に参加頂き、賞状のレイアウト作成を実践形式で行い、とても充実した講習会となりました。

パソコンの時代ではありますが、心のこもった手書きの賞状は、受賞された方にとって最高の賞になると思います。



◇ 草刈機安全衛生講習会(県連合会主催) ◇

開催日時：11月20日(木)～21日(金)10時
開催場所：三潞総合福祉センター

草刈作業の会員拡大と、安全に対する意識や知識・技能を高めるために、「[※]高齢者活躍人材確保育成事業」を活用して、草刈機安全衛生講習会を開催しました。2日間にわたる講習会でしたが、充実した講習会となりました。



◇ クリスマスリースとお正月飾り(県連合会主催) ◇

開催日時：11月27日(木)10時
開催場所：当センター本部2階 研修室

女性会員の拡大を図るため、「[※]高齢者活躍人材確保育成事業」を活用して、「クリスマスリースとお正月飾り」を制作するセミナーを開催しました。平井会員に講師をお願いし、多くの一般市民の方に参加頂き、センターの魅力をPRし、楽しく交流を図ることができました。



※高齢者活躍人材確保育成事業とは、福岡県シルバー人材センター連合会が福岡労働局から委託された事業で地域における人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業を促進するため、就業体験や技術講習等を通して、高齢者・企業双方のシルバー人材センターに対する理解を深めてもらうことを目的としています。

安全推進活動について

安全推進理事 執行 正俊



あけましておめでとうございます。私たちがシルバー人材センター会員は、働くことを通じて、生きがいを得るとともに、地域社会への活性化に貢献するため、日々、安全な就業に取り組んでいます。しかしながら、重篤事故は3年連続で発生し、年間の事故件数は高止まりの状態が続いているのが現状です。ほとんどの事故は焦りや疲れ、また、長年の経験の積み重ねなどからくる慣れや失敗が大部分を占めています。

この対策として、当委員会では、①会員の健康状態の確認、②作業前後の機具の点検、③安全保護具の着用、④就業途上での交通ルールの遵守、⑤適切な休憩時間の確保など、多岐にわたる安全対策の実施を行っております。また、重量機器の操作又は運転、急勾配での作業、環境政策に反する作業、高所作業、有害物質の取り扱い作業等は、安全を確保するため就業を引き受けておりません。

何より会員自身が事故防止を意識することが最も重要だと認識しております。

安全は全てに優先する

令和7年度安全就業促進大会開催

10月15日(水)に久留米商工会議所(中央会場)、10月17日(金)に三潯生涯学習センター(西部会場)、10月21日(火)に久留米ふれあい農業公園(東部会場)で開催いたしました。

【安全大会式次第】

- ① 物故者に対する黙祷
- ② 理事長挨拶
- ③ 安全推進委員長挨拶
- ④ 安全講話

「令和六年度事故の振り返り」安全推進委員の説明

⑤ 記念講演

第一部「フレイル、口腔フレイルを防止するには」
講師 久留米市保健所

第二部「一般救急法実演」
講師 久留米広域消防本部

⑥ 安全就業宣言

今年の参加者数は、昨年度より7人少なく130人でした。(登録会員総数1253名)

記念講演については、「フレイル」予防の三本柱は「運動」、「栄養」、「社会参加」があり、その自己管理をすることが大切であること。また、「口腔フレイル」では、80歳になっても自分の歯を20本以上保って、生涯食べる楽しみを味わいましょうということを話してもらいました。

消防署の「一般救急法」では、「心臓マッサージ」のやり方、「AED」の使い方を教わり、身近な方等の生命を守る大切な講演をしていただき、大変勉強になりました。

【安全大会会場出席人数】



東部会場	西部会場	中央会場	合計
40人	50人	40人	130人

安全推進委員会

東部会場



【委員の事故詳細説明】

西部会場



【久留米市保健師の説明】

中央会場



【理事長の挨拶】



【心臓マッサージの実演】



【AEDの実演】



【心臓マッサージの実演】

第2回 会員のつどいを開催

日時:令和7年11月5日(水) 13:30
 会場:三潞生涯学習センター 1階 視聴覚室
 内容:ヤクルト健康教室、就業募集案内、ビンゴゲーム

開会のあいさつ



毎回好評いただいているヤクルト健康教室を開きました。バランスの良い食事の大切さを改めて知ることができました。そしてビンゴ大会では楽しい時間を過ごし、最後には旬のサツマイモなどたくさんのお土産があり笑顔で終わることができました。

健康教室の様子



第3回 会員のつどいのお誘い

日時:令和8年2月4日(水) 13:00~(受付)
 会場:久留米ふれあい農業公園(草野町吉木33) ※無料駐車場有り
 内容:ヤクルト健康教室、就業募集案内、ビンゴゲーム

イベント参加報告

- ◆くるめフォーラム2025
 令和7年10月4日(土)5日(日)
 えーるピア久留米



- ◆久留米市コスモスフェスティバル
 令和7年10月25日(土)26日(日)
 コスモスパーク北野(江口公民館)



- ◆ふるさとくるめ農業まつり
 令和7年11月8日(土)9日(日)
 リサーチセンタービル・展示場



小物の展示販売や会員募集のチラシ配布をしながら様々な方と交流ができました。これからもイベントに参加し女性会員拡大に努めたいと思います。皆様の参加をお待ちしております。

会員ポータルサイトを覗いてみましょう!

インターネットを利用した情報提供サービス「会員ポータルサイトサービス」は、シルバー会員専用のWEBサイトです。ぜひご活用ください。

◆会員ポータルサイトでできること

ご自宅のパソコンやスマートフォンから、インターネットの会員専用WEBサイトへアクセスし、下記項目の閲覧や印刷が可能です。(PDF ファイル形式なので印刷も可能)

※スマートフォンの機種やOSによって閲覧表示の方法が異なります。

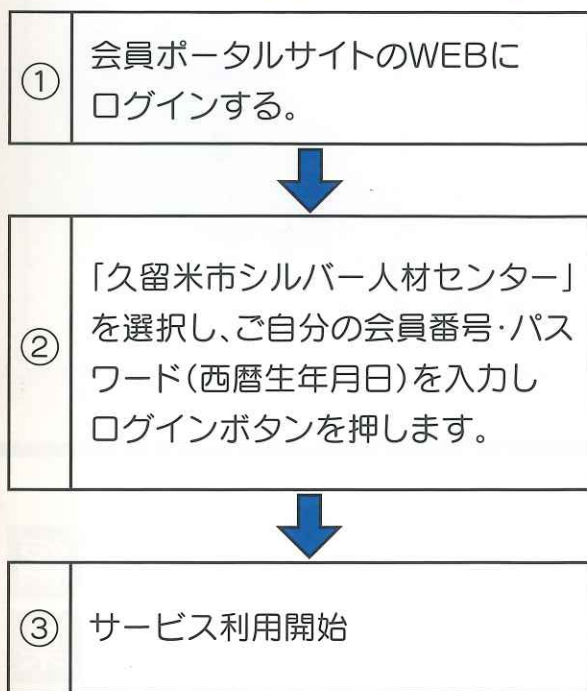
- ①「会員業務委託料明細書(旧 配分金明細書)」(毎月支払い分)
- ②「会員業務委託料支払証明書」(年間支払い分)
- ③「就業予定、就業中の就業条件」

◆会員ポータルサイトを活用するには

登録手続きは不要です。センターから発行された会員番号とパスワードでいつでもログインできます。(初回パスワードは西暦の生年月日で設定されています。パスワードは安全のためログイン後に変更をお勧めします。)

※サイト利用料は無料ですが、接続に関わる通信料は必要です。

サービス開始までの流れ



WEBサイトにアクセス

URL: <https://sjc-portal.org>

または
QR コードの読み込み



※パスワードは安全のため、変更をお勧めします。

文字数(6~10 文字、大・小文字・英数・記号使用可能)

「記事募集キャンペーンについて」

広報委員会では、4月から9月末日まで「会員皆さんの声」を発信する機会として、「記事募集キャンペーン」を実施しました。その結果、会員の皆様から多数のご応募をいただきました。ご応募頂き、ありがとうございます。審査の結果、2名の会員さんを「会報高良山1月号」と「会報高良山4月号」にてご紹介させて頂くこととなりました。

今回ご紹介させて頂くのは、入江 四郎さん(81歳)です。入江さんは当センターへ平成21年に入会し、17年目になります。入会後は様々なお仕事を経験され、現在は学校管理業務にて就業しています。下記に原文のまま紹介します。

「母の思い出」

入江 四郎

私は7人兄弟の末っ子に生まれ、幼い頃から体が弱く、おんぶされての病院通いは常だった。成長の課程でいろんな農家の手伝いを任された。労働していたら次第に体が強くなってきた。母は家族の食事作り、農作業や私達身の回りの世話など、仕事がたくさんあって大変だったろう。そんな中で童謡を歌いながら「昔話」は飽きることもない楽しいひと時だった。農業のことなら何でも詳しいし、野菜や

花に笑顔で話かける姿が心に残っている。

特に記憶にあるのは「何より元気が一番はい」と言っていた言葉だった。

最近まであまり意識していなかったが、私もいつの間にか老境の域にさしかかり、老化現象がいろいろ出てくると、先のことを考えるようになった。それから、母が言っていた言葉を思い出し、養生に努め母の歳に並びたい。そしてその日がきたらこう伝えよう。「何より元気が一番だね」と。

編集後記

明けましておめでとうございませう。

皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は猛暑の中、皆さまの就業への姿勢や事務局の対応姿勢など、新たな視点から、感動する場面がありました。

一方、限られた人員での就業、安全対策など課題も少なくありません。

その課題を少しでも改善するために、広報啓発活動を強力に推進するよう、努めていきます。

皆さまには、これまで以上に充実した日々を送ることを心よりお祈りし、今年も健康で元気に就業ができるよう、お願い申し上げます。

広報委員副委員長

白水博文